

記者発表資料

平成26年度 東京港湾事務所の事業概要について

東京港湾事務所では、国際コンテナ戦略港湾（京浜港）のハブ機能強化及び我が国のEEZ（排他的経済水域）における資源探査等の経済活動を支える拠点を整備するため、平成26年度においては、以下のプロジェクトを実施していきます。

1. 東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業（耐震強化岸壁）

今後世界の主流となる8,000TEU積み、10万トン級の大型コンテナ船の入港を可能とするため、国内最大級の水深16mの岸壁（Y2、Y3）を整備し、首都圏の国際競争力を強化します。

26年度は、Y2岸壁の上部工、舗装工、航路・泊地及び航路の浚渫工を行います。

また、Y3岸壁の調査・設計等を行います。

2. 東京港10号地その2～中央防波堤外側地区臨港道路（南北線）整備事業

東京港中央防波堤地区の開発に伴う将来交通量需要の増大に対応し、円滑な物流を確保するため中央防波堤側と有明側を結ぶ主動線として、臨港道路（南北線）を整備し、首都圏の国際競争力を強化します。

26年度は、南北線の新規着工として、調査・設計等を行います。

3. 南鳥島及び沖ノ鳥島における活動拠点整備事業

平成22年6月に施行された「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」等に基づき、海洋資源の開発・利用、海洋調査等に関する活動が、本土から遠く離れた海域においても安全かつ安定的に行われるよう、船舶の係留、停泊、荷さばき等が可能となる活動拠点（特定離島港湾施設）の整備を推進します。

なお、沖ノ鳥島については、3月30日に発生した栈橋の転覆事故に対し、「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会」を立ち上げ、事故原因の究明と今後の事故再発防止について審議しているところです。今後の事業については、中間取りまとめを踏まえて検討して行くこととしています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

所属 国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所

氏名 1, 2に関しては、副所長 まやまたけお 眞山丈夫 または、工務課長 ならさとし 奈良智

3に関しては、副所長 こばやしひろゆき 小林雅幸 または、第一特定離島港湾課長 ひろせよしあき 廣瀬好明

電話 03-5534-1360（代表）／FAX 03-5534-1369

【継続】

とうきょうこうちゅうおうぼうはていそとがわちくこくさいかいじょう

東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業 (Y2)

せいびじぎょう
平成26年度事業費：8.6億円とうきょうとない
東京都内

1. 事業の必要性及び概要

国土交通省では、我が国の国際競争力強化の観点から世界標準となる国際海上コンテナターミナルの整備を進めています。この事業により、欧米基幹航路も含む国内外をつなぐシームレスな物流網を形成し、首都圏全域の産業基盤の強化が期待できます。また、構造を耐震強化岸壁とすることで大規模地震時にも、その機能を維持します。

◎全体計画

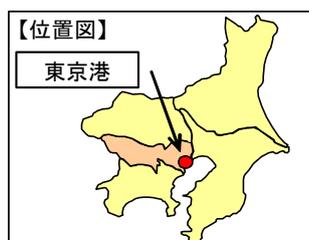
事業箇所	：中央防波堤外側地区
事業内容	：岸壁（水深16m）（耐震強化） 航路（水深16m） 航路・泊地（水深16m）及び泊地（水深16m）

2. 期待される整備効果

世界標準となるコンテナターミナルを整備することにより、今後世界の主流となる8,000TEU積みの大型コンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。

また、大規模地震時にも港湾物流機能を維持し、国際コンテナ貨物の輸送を継続します。

3. 位置図及び概要図



4. 平成26年度の事業予定

[岸壁（水深16m）（耐震強化）]

上部工、舗装工

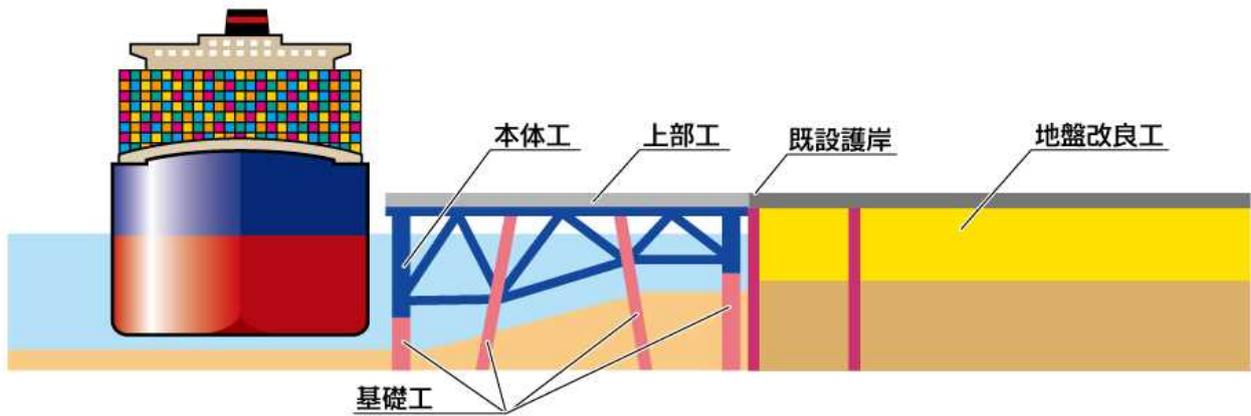
[航路・泊地（水深16m）]

浚渫工

[航路（水深16m）]

浚渫工

(参考) 国際海上コンテナターミナル整備事業 (Y2) の施工概要



**浚渫工
撤去・掘削工**

航路、航路・泊地の浚渫、ジャケッ
ト据付部の障害物撤去・掘削をします。
また既設護岸の地盤を改良し
ます。

地盤改良工

土砂を浚渫
消波ブロック等
撤去

16m

基礎工

上部構造物 (ジャケッ
ト) を
支える基礎となる鋼管杭を製
作し、岸壁となる地盤に打ち
込みます。

油圧ハンマー
鋼管杭 (先行杭)

本体工

岸壁の基礎 (土台) となるジャ
ケットを製作し、据付します。

ジャケッ
ト

上部工

岸壁の路面となる床版を製作・
据付し、床版の舗装をします。

プレキャスト床版
鋼管杭 (後行杭)

【継続】

とうきょうこうちゆうおうぼうはていそとがわちくこくさいかいじょう

東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業 (Y3)

せいびじぎょう

平成26年度事業費：1.4億円

とうきょうとない
東京都内

1. 事業の必要性及び概要

国土交通省では、我が国の国際競争力強化の観点から世界標準となる国際海上コンテナターミナルの整備を進めています。この事業により、欧米基幹航路も含む国内外をつなぐシームレスな物流網を形成し、首都圏全域の産業基盤の強化が期待できます。また、構造を耐震強化岸壁とすることで大規模地震時にも、その機能を維持します。

◎全体計画

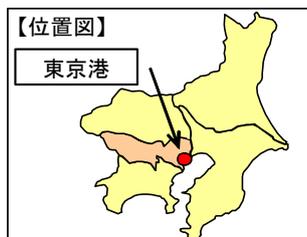
事業箇所	：中央防波堤外側地区
事業内容	：岸壁（水深16m）（耐震強化） 航路・泊地（水深16m）

2. 期待される整備効果

世界標準となるコンテナターミナルを整備することにより、今後世界の主流となる8,000TEU積みの大型コンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。

また、大規模地震時にも港湾物流機能を維持し、国際コンテナ貨物の輸送を継続します。

3. 位置図及び概要図



4. 平成26年度の事業予定

[岸壁（水深16m）（耐震強化）]

- ①環境アセス関連資料作成及び現地調査
- ②細部設計

【新規】

とうきょうこう ごうち ちゅうおうぼうはていそとがわちくりんこうどうろ なんぼくせん せいびじぎょう
 東京港10号地その2～中央防波堤外側地区臨港道路(南北線)整備事業
 平成26年度事業費：3.0億円

とうきょうとない
 東京都内

1. 事業の必要性及び概要

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う東京港の中央防波堤地区において、開発に伴う将来交通量需要の増大に対応し、円滑な物流を確保するため中央防波堤側と有明側を結ぶ主動線として、臨港道路(南北線)を整備します。

◎全体計画

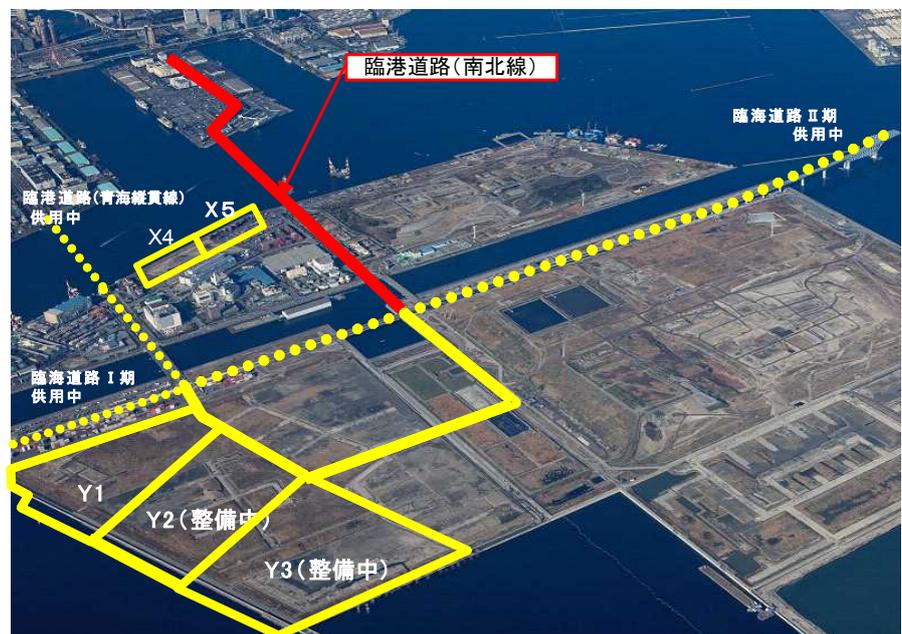
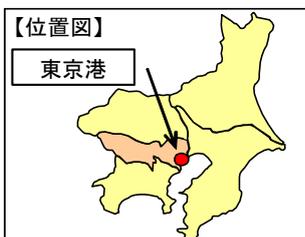
事業箇所：10号地その2～中央防波堤外側地区
 事業内容：道路

2. 期待される整備効果

新たに南北線を整備することにより、都市機能が集積している臨海副都心周辺の渋滞緩和、交通の安全性確保に寄与します。

また、大規模地震等緊急時の代替路(リダンダンシー)も確保されます。

3. 位置図及び概要図



4. 平成26年度の事業予定

[道路]

- ①環境アセス関連資料作成及び現地調査
- ②基本設計

【継続】

みなみとりしまおよびおきのとりしま かつどうきよてんせいびじぎょう
 南鳥島及び沖ノ鳥島における活動拠点整備事業

平成26年度事業費：22.7億円（南鳥島）、97.3億円（沖ノ鳥島）

とうきょうとおがさわらむら
 東京都小笠原村

1. 事業の必要性及び概要

① 南鳥島

南鳥島では、気象庁が気象観測を行うとともに、防衛省が気象観測の支援業務として飛行場の維持管理等を行っています。これら業務に使用する燃料や大型の重機・建設資材などは船舶により輸送していますが、輸送船が直接接岸できないため、台船等に積み替えてから陸揚げしており、安定的な物資輸送に大きな支障を来しています。

また、海洋資源の開発・利用、海洋調査に関する活動やこれらの活動支援が、安全かつ安定的に行われることが必要となっています。

本事業は、本土から遠く離れた南鳥島において、船舶による輸送や補給、荒天時の待避等が可能な活動拠点の整備として、港湾の整備を行うものです。

◎全体計画

事業箇所：南鳥島

事業内容：岸壁（水深8m）、泊地（水深8m）

② 沖ノ鳥島

沖ノ鳥島では、護岸の保全工事や調査・研究等が行われていますが、港湾施設がないため、沖合で本船から小型船や台船に必要な資機材を積み替えて運搬し、現地での作業を行っています。

また、海洋資源開発にあたっては、掘削船や運搬船等への補給や、採掘した鉱石の積み換え等のため、船舶の係留・停泊等が可能な拠点が必要とされています。

本事業は、資機材の陸揚げや作業員の上陸など、現地における作業が安全かつ効率的に行われるよう、本船が直接接岸可能な港湾の整備を行うものです。

現在、3月30日に発生した棧橋の転覆事故に対し、「沖ノ鳥島港湾工事事務原因究明・再発防止検討委員会」を立ち上げ事故原因の究明と今後の事故再発防止について審議しているところです。今後の事業につきましては、中間取りまとめ（6月下旬取りまとめ予定）を踏まえて検討して行くこととしています。

◎全体計画

事業箇所：沖ノ鳥島

事業内容：岸壁（水深8m）、泊地（水深8m）、臨港道路

2. 期待される整備効果

物資輸送の効率化、調査船舶等の運航効率化、海洋資源開発の拠点形成

